

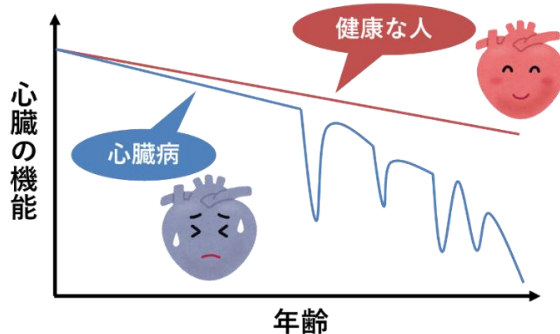
救急外来を受診した心臓病患者さんへの薬剤師による介入

近年、生活習慣の欧米化や高齢化に伴い心臓病患者さんが急増しており、当院でも多くの方が通院・入院しています。

心臓は一度悪くなってしまうと元通りに回復させることは難しく、生涯付き合っていく必要があります。うまくコントロールが出来ないと心臓が悪くなるスピードが速くなります。

そんな心臓病と上手く付き合っていくには、薬を毎日飲むことはもちろん、食事や運動、生活習慣を見直し、心臓への負担を軽くすることが大切です。また、血圧や体重の変化、むくみや息切れなどの心臓のSOSにいち早く気づいて対応する必要があります。

レインボー手帳(当院オリジナルの心不全手帳)を心臓病患者さんに配布し、毎日の様子を記録いただいています。外来受診時に主治医やリハビリ担当者などが内容を拝見し、心臓の状態を維持できているか確認します。



レインボー手帳

- 保険薬局の先生方に（枚方公済病院 薬剤科）救急受診された心不全患者に対して薬剤指導を行いました。
- ・左室駆出率(LVEF): % (検査日: 年 月 日)
- ・心不全の分類
 HFrEF ・ HFmrEF ・ HFpEF
- ・心不全の治療薬
 β受容体遮断薬 ・ RAS阻害薬/ARNI
 ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)
 SGLT2阻害薬 その他()
- ・レインボー手帳(当院独自の心不全手帳)
 有 ・ 無
- *お持ちの場合はご確認いただき細な事項でもレインボー手帳に記載いただければ幸いです。(セルフチェックシートに医療記入欄(黄色)がございます。)
- ・特記事項

当院オリジナルの心臓病シール

病院の他に、みなさんが関わる医療機関として調剤薬局があります。薬局薬剤師にもレインボー手帳を確認いただきサポートにつなげていきたいところですが、手帳を持っていることが分かりにくい現状があります。

そこで、当院では救急外来を受診した患者さんを対象に、薬剤師による介入を開始しました。薬の管理や生活状況、レインボー手帳の記録状況の確認を行い、問題点があれば指導をしています。また、お薬手帳に当院オリジナルの心臓病シールを貼り、薬局薬剤師への情報提供とさせていただいています。心臓病シールにはレインボー手帳の有無も記載しているため、調剤薬局でお薬手帳を確認した際にレインボー手帳を使っていることが分かり、患者さんへのアドバイスやサポートをするきっかけになればと思っています。

心臓病は患者さんだけではなく、地域全体で付き合いしていく病気です。まだ始めたばかりですが、地域と病院をつなぐ活動になるよう努めます。

薬剤師 熊谷春佳



第一回 血液疾患患者さん交流会「すずらんの会」を行いました。

当院の血液内科では、血液疾患全般を対応しており、多くは造血器腫瘍（血液がん）が占めています。造血器腫瘍に対して、抗がん剤治療・分子標的治療・放射免疫療法・移植治療といった様々な治療選択肢から最適な治療を受けていただく中、副作用で肝機能障害や腎機能障害を起こすことがあります。治療により病気がよくなっても、副作用による肝臓や腎臓に大きなダメージがかかっていることに加えて、生活習慣から生活習慣病を発症してしまい、新たに服薬開始となるケースが増加しています。栄養指導も導入していますが、体重増加・塩分過多を克服することができず、苦戦している患者さん、家族の声が多くあったことから、実際に塩分制限食を守り、上手に生活されている患者さんの成功体験を話していただきました。交流会開催後、患者さんや家族から「こんな会して欲しいと思っていました」「気になっていたことが解決しました」「今後もいろんなテーマで開催して欲しい」といった声をいただき、大好評で交流会を終えることができました。今後も患者さんの交流会をもつことで、少しでも問題解決の場になればと思っています。

～ 鯖缶と舞茸の簡単炊き込みご飯 ～

材料（4人分）

米	2合（300g）
鯖味噌煮缶	1缶（約200g）
舞茸	1パック（100g）
きざみねぎ	お好みで



魚が不足しているかなというときに、メニューを少しアレンジしたいなと思ったときに、鯖缶で手軽に。

包丁いらず、調味料の計量もなしで簡単に美味しい炊き込みご飯がでちゃいます。

栄養科 植園明子

作り方

- ① お米を研ぎ、2合の目盛りまで水を入れる。
- ② 鯖味噌煮缶は汁ごと、舞茸は手でほぐして①に入れる。
- ③ 材料を入れ、20分おいてから炊飯スイッチON！
- ④ 炊きあがったら器に盛り付け、お好みできざみねぎを散らしたら完成。

枚方公済病院

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。